

心法 第一 堪忍丸

人法たる道を守り終く
切みたる法を獨り有れば
わが香こみ服小治わりの
万病を治す靈薬あり

折込堪忍丸の儀ハむか龍溪禪師より弘善といへば大儒傳法の
奇業ありて龍氣痛症もも金盧過道の病も積年借金もも
老又ハ先借大借半打半痛更痛中て終い大病あり必死種
微の病あり身体もも捨てたこと分取滅却するに強忍もも
此薬をたつて用れれば終くも全快する事神如ハ一以業を用れば
自然と忠孝もあはれ天寿を延ぶ由思はれはやく安樂あること古今
無双の良業ハ億々世に上りて此の薬ハ此の書ハ此の書ハ此の書ハ
なまじハ此薬用ひれば及ぶほど思ふ人も有くぬたハ此書ハ此書ハ
い時ハ此痛ある者の要救何人も少く完病ありはれはやく後
む身作て四吟味の上ハ用ひて成ハ功徳荒増たや元ハ

- 一家業をとおこするよし
- 初起おこる時利ハ速く目や
- 氣能上達するに利ハ速く
- 人をなやう慢あるを治し
- でんさあつと起る時利ハ速く
- 名波どらな我慢あるに用ひて
- 法務真事法にのむあや
- あつとび過とすに
- 日数多くと利ハ速く
- 人の業ハ此薬用ひて
- 一 一親兄弟間ハ
- 一 一やん色ふふふふ
- 一 一抱はすやふふふ
- 一 一身多不敷や
- 一 一酒やとみふふふ
- 一 一性性やとみふふふ
- 一 一家内ハ
- 一 一不敷や
- 一 一此薬用ひて

禁物
○殺生 ○嘘のつと
○かろくふと後後合と ○夜をあひ
○不後 ○不更 ○不理 非乃 ○大食 以外法危き合

此薬聖人賢人此書物合せ用ひて時ハ多事功徳神の
折く業治とあり業此めはう方早ハ人ハ日夜をうり
目かり業ハ次業に業能天一通ハ身作てあり
存ハ業ハ天下一法の良業あり其功ハ業明事ハ用ひて

本家 克己堂復禮 弘所 停雲居政基 取次 芽場町 松花園樂雅